



左:南面は大開口を設けて十分な日射を確保  
中・右:室内開口や欄間、造作FIX窓を活用して“暗がり”をつくらぬよう設計する



基礎断熱・床下エアコンが標準仕様のため、LDKのフローリングは多くがナラやオークといった広葉樹(左)だが、予算などの都合で床断熱・壁付けエアコンとする場合のLDKや2階はパイン、スギなどの針葉樹フローリング(中央・右)を採用

を抑えながら高い断熱・耐震性能を確保することにつながっている」と話す。

### 床断熱のフローリングは針葉樹

同社では、暖房については基本的に床下エアコンを推奨しており、その場合は基礎断熱になるが、基礎断熱はベタ基礎のコンクリートの一体打設をはじめとする防蟻対策にコストがかかる。そのため顧客の予算・要望によっては、床断熱にして暖房についてもエアコンを壁付けにしてコストを下げるケースもある。ただし、その際は「ナラ、オークのような広葉樹フローリングだと冷たさを感じてしまうため、床断熱(エアコン壁付け)の時はパイン、スギ、ヒノキなど針葉樹のフローリングをほぼ必須として体感的な暖かさが損なわれないようにしている」(小幡さん)という。

### 施主DIYも積極的に採用

仕上げ材の標準化によるコストダウンにも取り組んでいる。同社では無垢の木との相性がよくコスパの高い珪藻土クロスを標準的に使用しているが、塗り壁(珪藻土、漆喰)で仕上げたい

という施主に対しては、コストダウンの効果も含めて施主自身によるDIYを提案している。「かなりの割合のお客様がDIYで楽しみながら自ら壁を塗っている」と小幡さん。

最近、人気が高まっているのが、美しい白さを醸し出すローラー塗りの西洋漆喰だ。素人でも塗りやすく施工性もよく、将来的に上塗りや補修も施主が自らの手で行うことができる。小幡さんは「自社で在庫をしなければならぬが、材料屋さんからまとまった量を仕入れることでコストを下げている」とし、「DIYを組み合わせることにより、自然素材でデザイン性にも優れた仕上げを施主にリーズナブルに提供している」と説明する。

### 下地材の野縁で天井仕上げ

デザイン性を確保しながら、コストを抑える手法として、木材の使い方も工夫を凝らす。例えば、下地に使う節のある野縁(スギ材)を天井の仕上げ材として用いるのもその1つだ。「柿渋を塗ることで、節が目立たなくなりとても“いい感じ”に仕上がる」と小幡さん。「最近では、あえて塗装をせ

ずにスギの赤身、白太の色のコントラストを残す施主もいる。いずれにしても、こちらが最初に丁寧に説明すれば、節については気にしない人がほとんど」という。

外構の木製のフェンスにスギの間柱材を活用するのも、同社がよく使う手法だ。ウッドロングエコで仕上げる。佐藤さんは「これを例えば樹脂木材でやるとなると3倍ぐらいのコストがかかる。耐久性は樹脂木材の方が高いかもしれないが、交換できることを考えればこちら(間柱材)の方がコスパがいい」と話す。

外装についても、無垢のスギ板材をファサードなど部分的に用いることにより、「木の家」の印象を出しながら、それ以外の妻面や裏側などは木板よりもコストを下げられるガルバリウム鋼板で仕上げている。

### 高性能住宅への理解広がる顧客サイドでも工夫

同社が「できるだけ求めやすい価格帯で高性能住宅を地域の人たちに」と、さまざまな工夫に取り組む一方で、2人によれば「家づくりを検討する人た



左・中:西洋漆喰をローラーで塗る施主家族。コストダウンの手法として施主によるDIYを積極的に提案  
右:木と調和する美しい白さが人気の西洋漆喰。まとめて仕入れて在庫することで、少しでもコストを下げる努力をしている

ちも勉強していて、高性能住宅にはコストがかかることに理解を深めており、それを手に入れるための工夫がみられる」という。その一例が土地だ。これまで同社の顧客では「1000万円の新規分譲地に2500万円の住宅を建てる」というパターンが典型例としてあったが、最近は、施主が分譲地ではない多少、条件が悪い400万~600万円といった土地を探し、そこに3000万円で同社の住宅を建てるケースが目立ってきているという。

小幡さん、佐藤さんとも「そうやって当社との家づくりを検討してくれるお



社員大工の丁寧な施工により高い断熱性能を担保する

客さんの存在は非常にありがたい」と感謝する。一方で、新規分譲地に比べて敷地条件は劣ることが多く、そこに快適で心地いい住宅をつくる設計の難易度は高い。仕上げをはじめコストダ

ウンの工夫を継続しながら、住まい手の満足度と建築的な魅力を損なわない「コンパクト化」など、さらに効果的な価格を抑える取り組みや、それを実現できる設計力アップを目指す考えだ。



**ローヤル電機株式会社**

おかげさまで  
創業70周年  
70th Anniversary

住宅用 全熱交換型24時間換気装置

## SEシリーズ



SE200R/RS



SE300



SE100RD-4B



熱交換換気システムは省エネ住宅には欠かせない換気システムです

住宅換気は2時間に1回空気を入れ替える必要がありますが、換気をするとき暖め(冷やし)た冷暖房の熱エネルギーを逃がしてしまいます。ローヤル電機の熱交換換気システムは換気で逃げてしまう熱エネルギーを最大90%回収。回収した熱エネルギーで外から入ってくる新鮮な空気を暖め(冷やし)ます。

**健康**

ローヤル電機は全て第一種換気システム。給気と排気を同時に行うシステムです。計画的でしっかりとした換気を行うための最適なシステムです。

**快適**

熱交換の機能により外から入ってくる空気を寒く(暑く)感じさせません。快適な室内空間を保ちます。

**省エネ**

換気によって逃げていく熱エネルギーを回収するため、冷暖房に必要なエネルギーを削減します。

**全館空調もやっています!!**

ローヤル電機の全熱交換型24時間換気システムとダイキン工業のアメニティビルトイン型エアコンとの組合せによる全館空調システム。

**大好評発売中!!**



ローヤル電機株式会社  
〒108-0074 東京都港区高輪二丁目16番37号

お問い合わせ

royal-kanki@royal-elec.co.jp  
☎ 03-5424-1861

ホームページ

